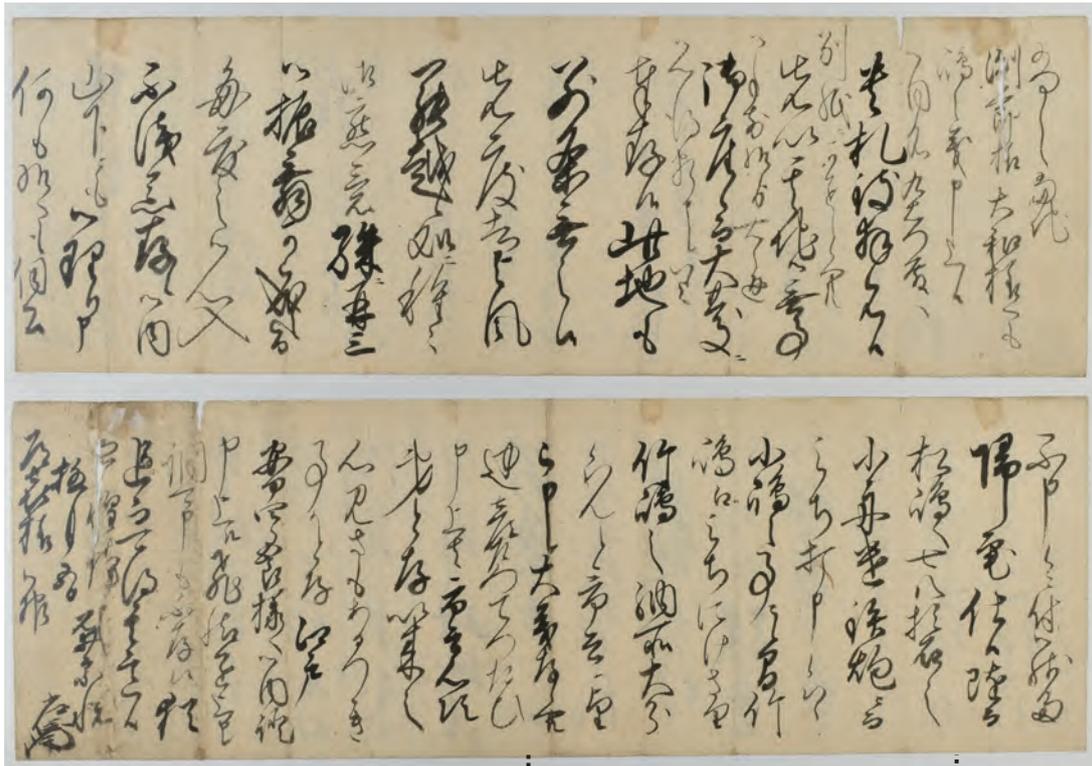


時代区分I (2)-①大谷家、村川家の竹島に対する認識を示す資料

## 竹島を正確に認識していたことがわかる書簡

## No.9 石井宗悦から道喜(大谷九右衛門勝宗)に宛てた書簡(1650年代)

新規掲載 年不詳12月5日付



所蔵: 島根県竹島資料室

大谷家1-10

## 資料概要

石井宗悦という町人が、大谷道喜(大谷家4代目当主九右衛門勝宗)に宛てた書簡で、竹島に関する記述が見られる。

石井宗悦は、鬱陵島、竹島に渡航している村川市兵衛が、「竹島は小島のため、竹島のアシカを鉄砲で撃てば鬱陵島へ逃げていくだろう」と言ったと、大谷道喜に伝えている。

作成年月日	年不詳12月5日付
編著者	大谷道喜
発行者	-
収録誌	-(大谷家文書1-10)
言語	日本語
媒体種別	紙
公開有無	無
所蔵機関	島根県竹島資料室
利用方法	島根県竹島資料室に問い合わせを行う

## 内容見本

(略)松嶋へ七八拾石の小舟遣鉄砲ニ而ミち打申候ハ、小嶋之事ニ候間竹嶋江ミちにけさり竹嶋之納所大分候わんと市兵衛望被申候大義存候共進彦左衛門てつたひ申上者市兵衛(略)

## 現代語訳

市兵衛は申している。「七、八十石の小舟で竹島へ行き、鉄砲で竹島のみち(アシカ)を打てば、竹島は小島なので、みちが鬱陵島へ逃げて行き、鬱陵島での漁獲が増えるだろう」と。

※原文では竹島は「松島」と、鬱陵島は「竹島」と記述されている。